

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2012

別紙1(視点1:設備の省エネルギー性能) VI地域用

2012.11.21 版

■ 「Q値計算書」(面積表・熱貫流率計算書)を添付して下さい。

フォーマットは <http://www.jcadr.or.jp/> からダウンロードできます。

複数地域に同一断熱性能で応募する場合、Ia・Ib・II地域でまとめて1部、III～VI地域でまとめて1部でかまいません。

■「一次エネルギー計算書」(「住宅事業建築主の判断基準」のウェブサイト <http://ees.ibec.or.jp/> での計算結果)を添付して下さい。

複数地域で応募する場合、地域ごとに1部添付して下さい。

■省エネルギーに関する仕様の詳細

設問に従い、各項目にチェックおよび仕様等を記入して下さい。

なお、ここで記入する設備種類・仕様等は、原則として上記の「一次エネルギー計算書」の入力内容と整合させて下さい。

1. 地域区分(本資料はVI地域での応募用です)

VI地域

2. 設備の仕様について

標準で採用する設備について、そのメーカー・型番・仕様等を記入して下さい。なお、用語の定義等については「住宅事業建築主の判断基準」ウェブサイト(<http://ees.ibec.or.jp/>)のFAQや解説を参考にして下さい。

2-1 暖房設備

※VI地域では、暖房設備の一次エネルギー消費は無視します。

2-2 冷房設備

(1) 冷房設備の設置・運転方式について、該当するもの一つに✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

- 住宅全体を連続的に冷房する →引き続き(2)に記入して下さい
- 各居室を間欠して冷房する →引き続き(3A)(3B)に記入して下さい
- 冷房設備は設置しない →2-3 換気設備に進んで下さい

(2) 全体連続冷房に用いる設備について、該当する方に✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

- ヒートポンプ式セントラル空調システム →メーカー・製品型番および仕様を記入して下さい。

メーカー：	製品型番：
冷房定格能力[W]：	冷房定格消費電力[W]：

- その他の冷房システム →メーカー・製品型番およびシステムの概要を記入し、システムの詳細は別紙2に記載して下さい。

メーカー：	製品型番：
概要：	

別紙 1

(3A) 各居室間欠冷房の場合でLDKに用いる設備について、該当する方に✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

- ルームエアコンディショナー →メーカー・製品型番および仕様を記入して下さい。

メーカー :	製品型番 :
冷房 COP :	冷房定格能力[W] :
冷房最大能力[W] :	

- その他の冷房システム →メーカー・製品型番およびシステムの概要を記入し、システムの詳細は別紙 2 に記載して下さい。

メーカー :	製品型番 :
概要 :	

(3B) 各居室間欠冷房の場合でLDK以外の居室に用いる設備について、該当する方に✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

- ルームエアコンディショナー →メーカー・製品型番および仕様を記入して下さい。

メーカー :	製品型番 :
冷房 COP :	冷房定格能力[W] :
冷房最大能力[W] :	

- その他の冷房システム →メーカー・製品型番およびシステムの概要を記入し、システムの詳細は別紙 2 に記載して下さい。

メーカー :	製品型番 :
概要 :	

2-3 換気設備

(1) 主要な換気設備および熱交換器について、該当するもの一つに✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

- ダクト式第1種換気設備 →(2)(3)に記入して下さい
 ダクト式第2種または第3種換気設備 →(2)(3)に記入して下さい
 壁付け同時給排気型ファン →(2)に記入して下さい
 壁付け給気型ファンまたは壁付け排気型ファン →(2)に記入して下さい

(2) 採用するファンのメーカー・型番・消費電力を記入して下さい。

(ファン) メーカー :	製品型番 :
消費電力[W] :	

(3) ダクト式の換気設備の場合、DCモーター式のファンを採用するかどうか、該当する方に✓を記入して下さい。

- DCモーターを採用する
 DCモーターを採用しない

別紙1

2-4 給湯設備

(1) 給湯器について、該当するもの一つに✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。また、いずれを選択した場合も(2)に記入して下さい。

- コージェネレーション
 ガス瞬間式（従来型） →メーカー・製品型番を記入して下さい。

メーカー： 製品型番：

- ガス瞬間式（潜熱回収型） →メーカー・製品型番を記入して下さい。

メーカー： 製品型番：

- 石油瞬間貯湯式給湯器 →メーカー・製品型番を記入して下さい。

メーカー： 製品型番：

- 石油瞬間式（従来型） →メーカー・製品型番を記入して下さい。

メーカー： 製品型番：

- 石油瞬間式（潜熱回収型） →メーカー・製品型番を記入して下さい。

メーカー： 製品型番：

- 電気温水器（CO₂ヒートポンプ式） →メーカー・製品型番およびAPFを記入して下さい。

メーカー： 製品型番 APF：

- ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型 →メーカー・製品型番を記入して下さい。

メーカー： 製品型番：

- 設置しない

(2)節水・節湯器具および太陽熱温水器等について、以下の器具等で標準採用するものがあれば✓を記入し(複数記入可)、採用する器具についてはメーカー・型番等を記入して下さい。

- 小口径配管
 台所の手元止水器具（止水が容易な機構）

メーカー： 製品型番：

- 台所の小流量吐水器具

メーカー： 製品型番：

- 浴室の手元止水器具（止水が容易な機構）

メーカー： 製品型番：

- 浴室の小流量シャワーへッド

メーカー： 製品型番：

- 太陽熱温水器

メーカー： 製品型番：

パネル有効集熱面積[m²]：

別紙1

2-5 照明設備

(1A) LDK の照明設備について、該当する方に✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

標準の照明設備は無く、お客様の任意の器具を設置する →(2A)に進んで下さい

標準の照明器具を設置する →引き続き(1B)に記入して下さい

(1B) LDK に設置する標準の照明器具について、該当するものに✓を記入して下さい(複数記入可)。

白熱灯を一切使用しない

調光機能付き器具を採用する (採用する器具は1つ)

調光機能付き器具を採用する (採用する器具は2つ以上)

(2A) LDK 以外の居室の照明設備について、該当する方に✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

標準の照明設備は無く、お客様の任意の器具を設置する →(3A)に進んで下さい

標準の照明器具を設置する →引き続き(2B)に記入して下さい

(2B) LDK 以外の居室に設置する標準の照明器具について、該当するものに✓を記入して下さい(複数記入可)。

白熱灯を一切使用しない

LDK 以外のすべての居室において、なんらかの調光機能付き器具を採用する

(3A) 非居室部分の照明設備について、該当する方に✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

標準の照明設備は無く、お客様の任意の器具を設置する →2-6 太陽光発電設備に進んで下さい

標準の照明器具を設置する →引き続き(3B)に記入して下さい

(3B) 非居室部分に設置する標準の照明器具について、該当するものに✓を記入して下さい(複数記入可)。

白熱灯を一切使用しない

人感センサーまたは照度センサーを採用する (該当する器具は1つ)

人感センサーまたは照度センサーを採用する (該当する器具は2つ以上)

2-6 太陽光発電設備

(1) 太陽光発電設備について、該当する方に✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

太陽光発電設備を標準で設置する →引き続き(2)に記入して下さい

太陽光発電設備を標準では設置しない →2-7 コージェネレーションに進んで下さい

(2) 2階建て・延べ面積 120m²程度の住宅における標準的な太陽光発電設備のメーカー・型番・容量等を記入して下さい。

メーカー：

製品型番：

システム容量[kW] :

2-7 コージェネレーション

(1) コージェネレーションについて、該当する方に✓を記入し、「→」以降の指示に従って下さい。

なお、コージェネレーションを採用する場合は 2-4 給湯設備の(1)で「コージェネレーション」を選択して下さい。

コージェネレーション設備を標準で設置する →引き続き(2)に記入して下さい

コージェネレーション設備を標準では設置しない →別紙1の記入は終了です

(2) 設置するコージェネレーション設備で、該当するもの一つに✓を記入し、いずれの場合もメーカー・製品型番および総合効率を記入して下さい。

ガスエンジンコージェネレーション

燃料電池コージェネレーション Type1

燃料電池コージェネレーション Type2

燃料電池コージェネレーション Type4

メーカー：

製品型番：

総合効率[%] :